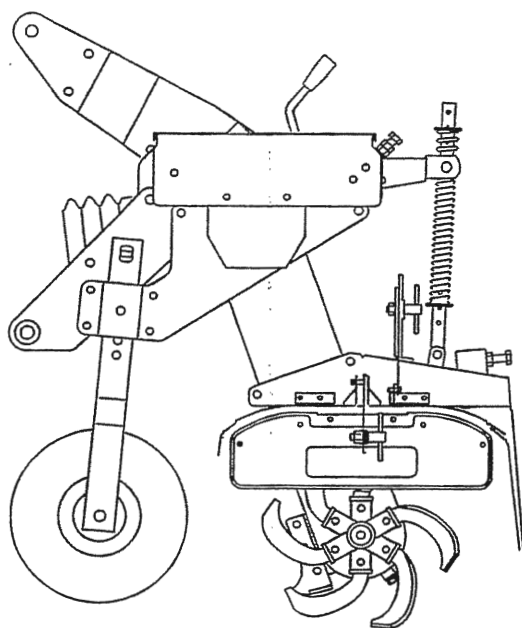




# 取扱説明書

## ロータリーカルチ

### RT205・305



当製品を、安全に、正しくお使いいただくために、

必ず、この取扱説明書をお読みください。

誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。

ご使用前には必ずお読みください。

お読みになった後も、必ず製品に近接して保管してください。

# 目次

はじめに	1
安全に作業するために	2
◎一般的な注意事項	2
◎作業の前に	3
◎トラクタへの脱着	4
◎路上走行	5
◎圃場の出入り	5
◎作業をしているとき	6
◎トラクタを止めるとき	7
◎点検や格納のとき	7
安全銘板貼り付け位置	8
保証とサービスについて	9
◎保証書について	9
◎アフターサービスについて	9
◎補修用部品の供給期限について	9
1 各部の名称	10
2 トラクタへの装着、取外し	11
3 作業前の点検	14
4 調整方法	15
5 培土板(オフショツ)の取付け及び調整	19
6 点検・保守管理	20
7 主要諸元	21
8 付属品	21


---

# ササキ商品をお買い上げいただき

誠にありがとうございます。

---

はじめに

- ◎ この取扱説明書は、ロータリーカルチの取扱方法と、使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書の内容を熟知するまでお読みいただき、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- ◎ ロータリーカルチは、中耕・除草並びに畝の土寄せ・培土を行う作業機です。これ以外の目的で使用しないでください。
- ◎ お読みになった後は、必ず、本商品のそばに保管し、いつでも読めるようにしてください。
- ◎ 本商品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を商品に添付してお渡しください。
- ◎ この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社またはお買い上げいただきました販売店、農協にご注文してください。
- ◎ 本商品は、品質・性能の向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及び図や写真などの一部が本商品と一致しない場合がありますので、ご了承をお願いいたします。
- ◎ ご不明なことやお気づきの点がございましたら、お買い上げいただきました販売店、農協にご相談ください。
- ◎  印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお読みください。



## 危険

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを意味します。



## 警告

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があることを示します。




## 注意

この警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあることを示します。

- ◎ この取扱説明書には、安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載しておりますので、ご使用前に必ず、お読みください。

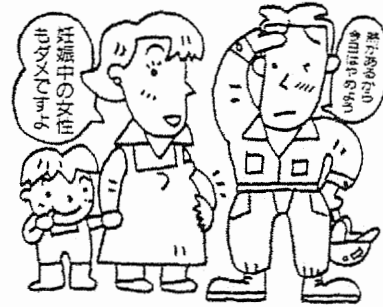
## 安全に作業をするために

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、ご理解いただいたうえで安全な作業を行ってください。安全に作業するためにぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

### ◎ 一般的な注意事項

#### 警告 こんな時は作業しない

- ◆ 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- ◆ 酒を飲んだとき。
- ◆ 妊娠しているとき。
- ◆ 18歳未満の人。

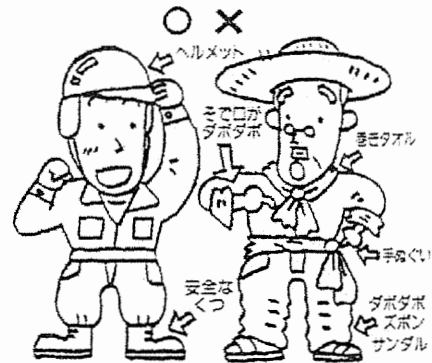


#### 警告 作業に適した服装をする

はちまき・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘルメット・滑り止めのついた靴を着用し、作業に適した防護具などを付け、だぶつきのない服装をしてください。

##### 【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒するおそれがあります。

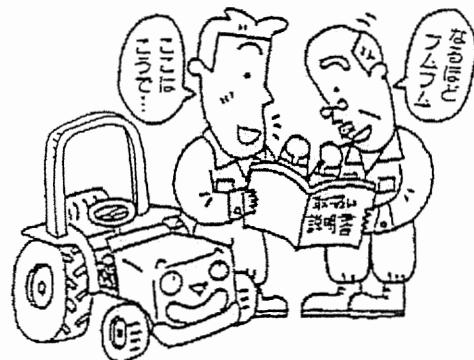


#### 警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

##### 【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の損傷をまねくおそれがあります。

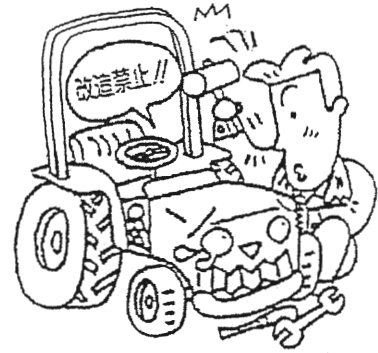


## ⚠ 注意 機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けないでください。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。



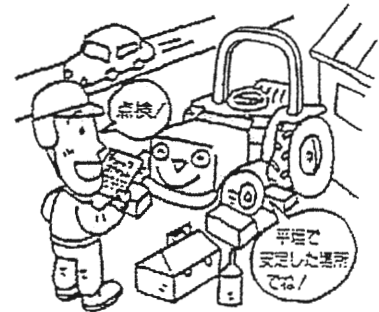
## ◎ 作業の前に

### ⚠ 警告 始業点検整備は平坦で安定した場所で行う

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦な安定した場所で、トラクタの前輪には車止めをして点検整備してください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。

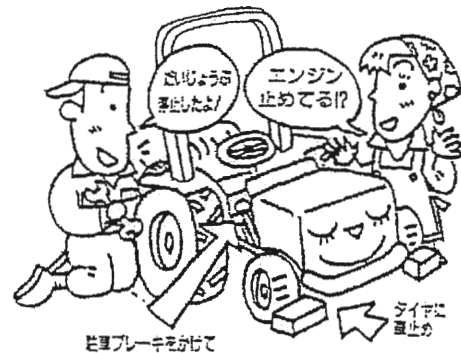


### ⚠ 警告 点検整備中はエンジン停止

点検・整備・修理または掃除をするときは、必ずエンジンを停止してください。

【守らないと】

機械の下敷きになるなど、傷害事故をおこすおそれがあります。



## ⚠ 注意

- ◇作業の前には点検・整備を行ってください。
- ◇各部のボルト・ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認してください。
- ◇カバー類を外したら、必ず取り付けてください。

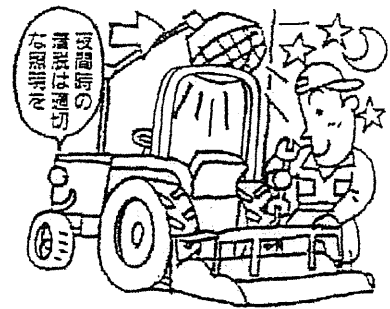
## ◎ トラクタへの着脱

### ⚠ 警告 作業機の着脱は平坦な場所で行う

作業機の着脱は平坦で安定した場所で行ってください。  
夜間は、適切な照明をしてください。

【守らないと】

事故をまねくおそれがあります。



### ⚠ 警告 作業機の下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。

【守らないと】

何らかの原因で作業機が下がったときに、傷害事故を負うおそれがあります。



### ⚠ 危険 運転時はジョイントカバーを外さないでください

【守らないと】

ジョイントに巻き込まれて傷害事故を起こすおそれがあります。



### ⚠ 警告 重い作業機をつけるときはウェイトでバランスを取る

重い作業機を装着したときは、フロントにバランスウェイトをつけてバランスを保ってください。

【守らないと】

バランスを崩して事故を引き起こすおそれがあります。



### 注意

- ◇トラクタから離れるときはエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてPTO変速を中立にしてください。
- ◇2人以上で着脱を行う場合は、互いに合図を確認しあって作業してください。
- ◇ユニバーサルジョイントの止めピンが確実に軸溝にはまっているか確認してください。
- ◇取り付け部のピンがすべて確実に装着されているか確認してください。

## ◎ 路上走行

### 注意 公道走行時は作業機の装着禁止

公道を走行するときは、作業機を取り外してください。

【守らないと】

道路運送車両法違反です。

事故を引き起こすおそれがあります。

### 注意

- ◇トラクタ、作業機に運転者以外の人を乗せないでください。
- ◇作業機の回転を止めて走行してください。
- ◇トラクタの落下速度調整ハンドルを回して必ず油圧ロックをしてください。
- ◇旋回するときは、作業機に人や物が接触しないように注意してください。
- ◇作業機を装着した時に機体寸法が大きくなるので、移動走行時は十分注意してください。
- ◇溝のある農道や両側が傾斜している農道では路肩に十分注意して移動してください。

## ◎ 圃場の出入り

### 注意

圃場に入るときは、必ず前進で速度を落とし、作業機を低くして重心を下げ、畦や段差に対して直角に進んでください。畦や段差に対して斜め方向に進むと、横滑りや転倒する危険があります。

## ◎ 作業をしているとき

### ⚠ 警告 回転部（ツメ・刃、軸等）に

巻き付いた草等を取るときはエンジン停止

【守らないと】

機械に巻き込まれて、重傷を負うおそれがあります。

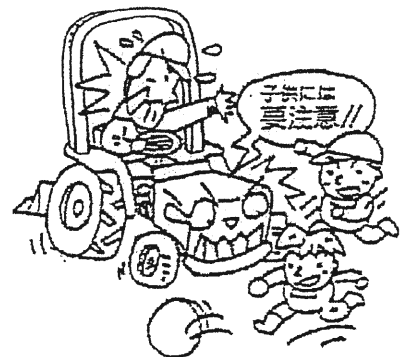


### ⚠ 警告 子供を近づけない

子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。

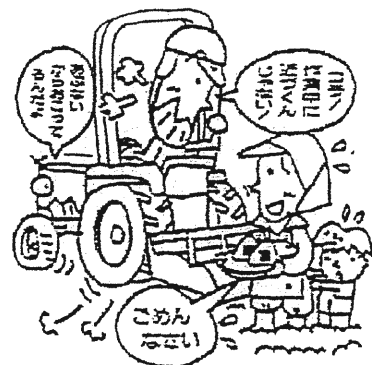


### ⚠ 警告 トラクタと作業機の周辺に人を近づけない

トラクタを移動して作業機を着脱するときは、トラクタの周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



### ⚠ 警告 作業機指定のPTO回転を守る

低速回転用の作業機を高速回転で使用しないでください。  
作業機指定のPTO回転速度を厳守してください。

【守らないと】

作業機が異常作動し、事故や機械の破損を引き起こします。





## ⚠ 注意

- ◇補助作業者がある場合は、動作ごとに合図をかわしてください。
- ◇回転部分や動くところには触れないでください。

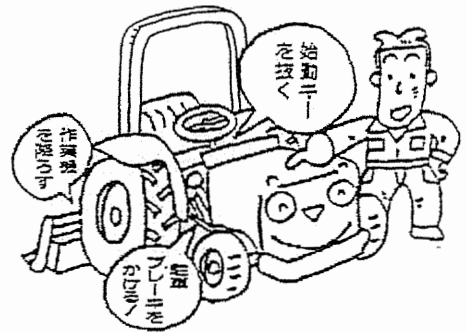
## ◎ トラクタを止めるとき

### ⚠ 警告 機械から離れるときは作業機を地面に降ろしてエンジンをとめる

機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け車止めをしてください。

#### 【守らないと】

トラクタが動きだし、事故を起こすおそれがあります。



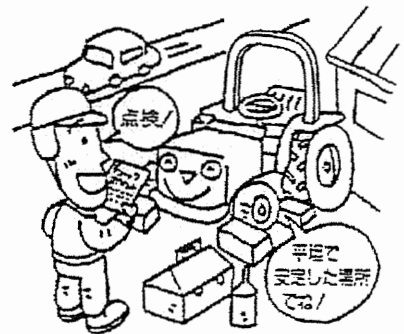
## ◎ 点検や格納のとき

### ⚠ 警告 点検整備は平坦で安定した場所で行う

機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け車止めをしてください。

#### 【守らないと】

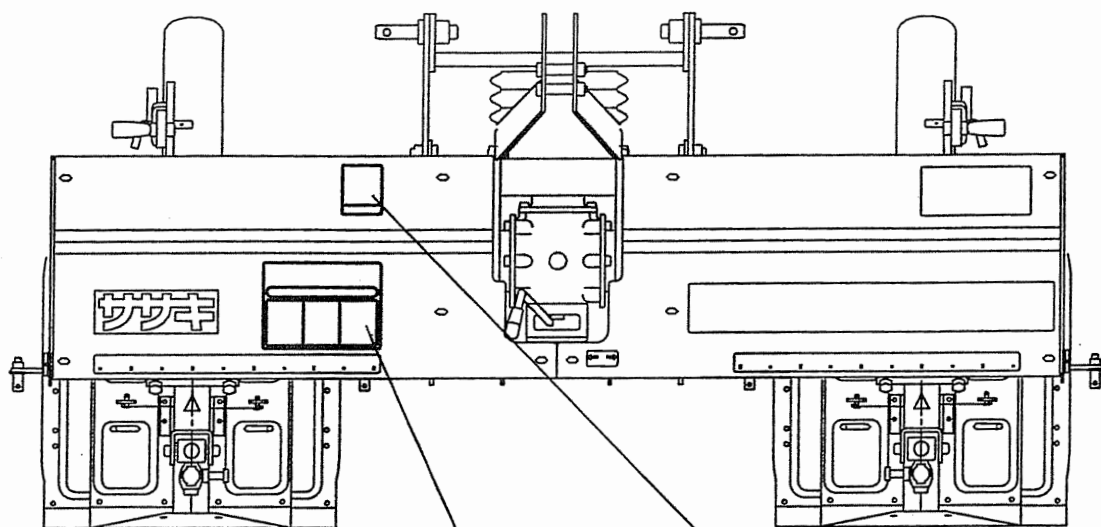
トラクタが動きだし、事故を起こすおそれがあります。



## ⚠ 注意

- ◇点検、整備時はトラクタのエンジンを止めてください。
- ◇機械の下にもぐったり、下で作業しないでください。
- ◇キャスターなどが付いている場合は、車止めをして作業してください。

# 安全銘板の貼付け位置



0000-04040

0000-01310

**注意**

- 加圧油をこぼして、皮膚に付着して下さい。
- トラクターから離れる際は、エンジンを停止して下さい。
- 足がトラクターの足回りやピンや歯車に挟まれることを避けて下さい。
- 油漏れ・漏れ・漏れ等の際は、エンジンを停止して下さい。
- エンジン始動時は、周囲に人がいないことを確認して下さい。
- 作業時は排気、PTOを止めて下さい。
- トラクターの急停止は、平穏で行って下さい。
- 作業時の急停止は、必ず行なって下さい。
- 油漏れ・油漏れに気付いたら、直ちにクワイエットを止めて下さい。
- 油漏れ・油漏れに気付いたら、直ちにクワイエットを止めて下さい。
- 作業中は人も近づかないで下さい。

**安全作業で家族も笑顔**

<p>作業中は周囲に近づかないで下さい。油漏れ等の場合は、必ずトラクターのエンジンを止めて下さい。油漏れ・油漏れに気付いたら、直ちにクワイエットを止めて下さい。</p>	<p>トラクターの足回りやピンや歯車に挟まれることを避けて下さい。作業中は人も近づかないで下さい。</p>	<p>作業中は必ずPTOを停止させて下さい。作業中は必ずPTOを停止させて下さい。</p>
--	---	---

0000-04040

**危険**

ジョイントシャフトを巻き込んで使用する  
と手が巻き込まれ死傷することがあり  
ます。必ず取り付けたままで使用して  
下さい。

0000-01310



**注意**

- 安全銘板が破損したり、はがれた場合は、上記の番号にてご注文いただき、同じ位置に貼り直してください。
- 新しい安全銘板を貼る場合は、汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

# 保証とサービスについて

## ◎保証書について

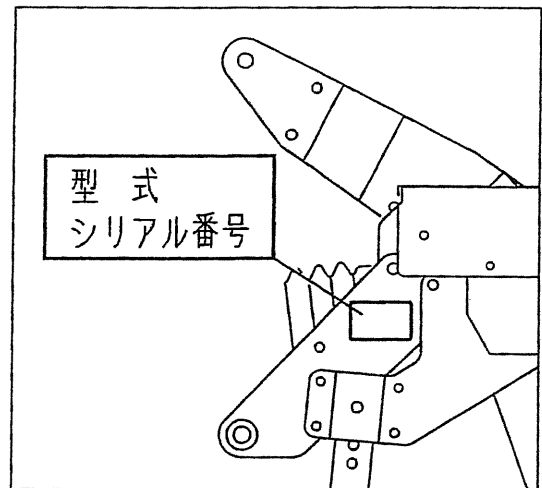
『保証書』は、お客様が保証修理を受けられる際、必要となるものです。お読みになった後は、大切に保管してください。

## ◎アフターサービスについて

ご使用中の故障やご不審な点など不具合がある場合は、お買い上げいただいた販売店、農協などにご相談ください。

《ご連絡していただきたい内容》

- ◆ 型式名
- ◆ シリアル番号
- ◆ ご使用状況  
(どのような作業をしていた時に?)
- ◆ どれくらいご使用していましたか?  
(約何アールまたは約何時間使用後…)
- ◆ その他、不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお知らせください。

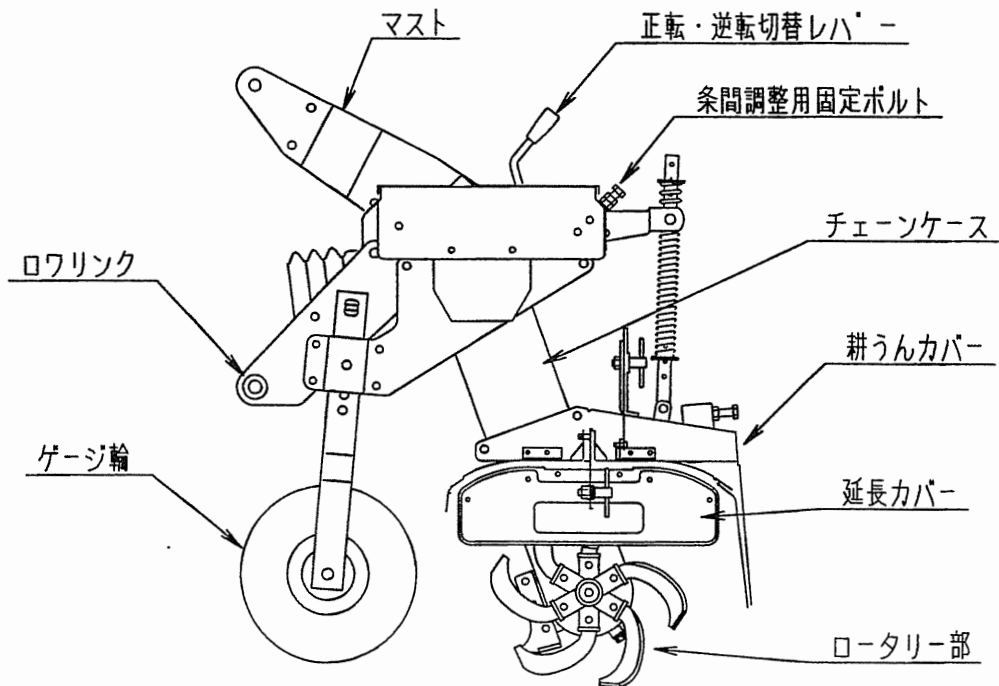
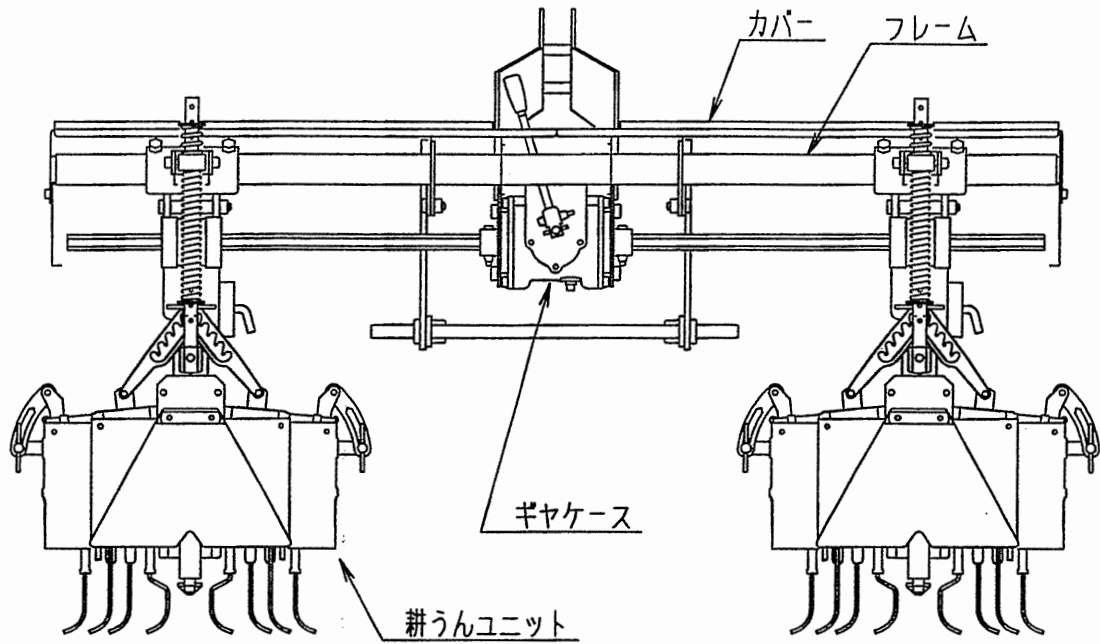


## ◎補修用部品の供給年限について

この商品の補修用部品の供給年限は、製造打ち切り後 9年までです。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品については、納期などをご相談させていただく場合があります。

# 1. 各部の名称



## 2. トラクタへの装着、取外し

本機は、標準3点リンク仕様です。

もし、トラクタの3点リンク装着装置が特殊3点リンク規格の場合は、特殊3点リンク用トップリンクブラケットとトップリンクを外し、標準3点リンク用の長いトップリンクに付替えてください。トップリンクの一端をトップリンクブラケットの下または中の穴にトラクタに備え付けのピンで取付けてください。



### 危険

- 作業機の装着は、平坦かつ硬い場所で、作業しやすい広い場所で行なってください。  
守らないと、不意に動いたり、転倒したりして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- トラクタには駐車ブレーキをかけ、トラクタと作業機の間に入らないでください。  
守らないと、挟まれて死傷事故を起こすおそれがあります。

### 1. トラクタへの装着

- ① ロータリーカルチに向かってトラクタを静かに後進してください。
- ② トラクタの左ロワリンクにロータリーカルチの左ロワーピンを差し込み、リンチピンで抜け止めをしてください。
- ③ トラクタの右ロワリンクにロータリーカルチの右ロワーピンを差し込みます。ロワリンクの取付穴と右ロワーピンとの高さが合わないときは、リフトロッドの長さを増減させて高さを合わせてから差し込み、リンチピンで抜け止めをしてください。
- ④ トップリンクの長さを調整してロータリーカルチのマストに取付け、リンチピンで抜け止めをしてください。カバーが水平になるように調整してください。



### 注意

トップリンクの長さ調整は作業機を接地させ、エンジン停止で行なってください。  
守らないと、トップリンクが抜けて作業機落下のおそれがあります。

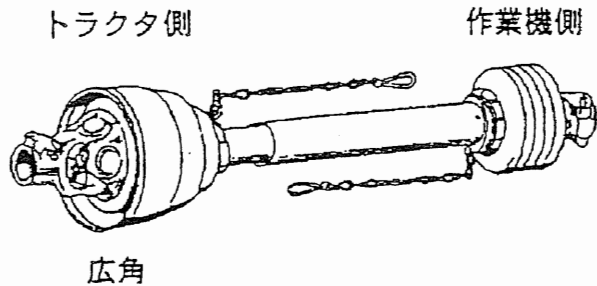
- ⑤ トラクタのチェックチェーンを左右均等に張って、作業機の横揺れを規制してください。一度左右均等に最短に張ってから、左右それぞれのターンバックルを1～1.5回戻して、少し張りを緩めてください。
- ⑥ ユニバーサルジョイントを装着してください。装着する前にユニバーサルジョイントの長さを確認してください。長い場合は、「ユニバーサルジョイントの切断方法」を参照してください。



## 警告

ユニバーサルジョイントを装着するときは、PTO変速レバーを「中立」にし、トラクタのエンジンを停止してから行なってください。守らないと、死傷事故を起こすおそれがあります。

- ⑦この作業機は、ユニバーサルジョイントは片側が広角のものを使用しています。広角側をトラクタのPTO軸に取付けてください。



## 注意

トラクタ側に広角部を付けないと、油圧昇降装置で作業機を高く持ち上げたときに、ジョイントから異音を発生し、ジョイントの破損につながります。

- ⑧ユニバーサルジョイントのノックピンを押しながら軸に装着し、軸の溝にノックピンを確実にはめ込み、抜け止めをしてください。ノックピンの頭が1cm以上戻っていると正常に装着されています。



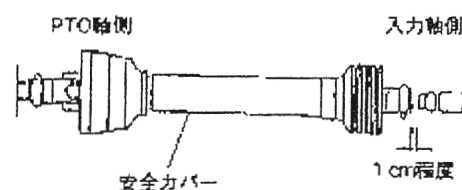
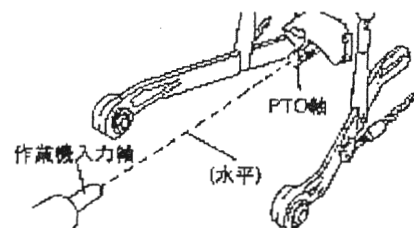
- ⑨ユニバーサルジョイントのポリカバーが回転しないように、内筒及び外筒をそれぞれ付属チェーンで回り止めをしてください。チェーンが切断した場合は、即刻交換して回り止めができるようにしてください。
- ⑩ユニバーサルジョイントを装着するときに、入力軸カバーを取外した場合は、ジョイント装着後、必ず取付けてください。

## ユニバーサルジョイントの切断方法

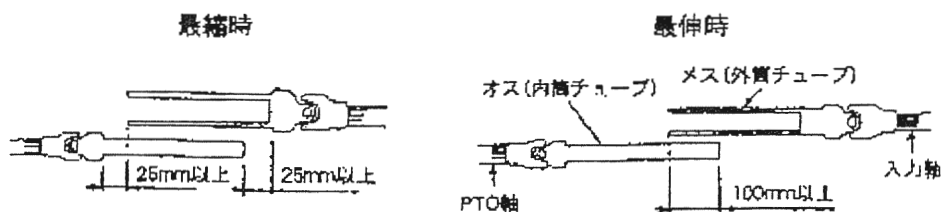
ユニバーサルジョイント(以下「ジョイント」といいます)の長さは、必ず適正長さの範囲内で使用してください。短すぎるとジョイントが抜けて思わぬ事故につながり、長すぎると機械を破損してしまいます。短い場合は交換し、長い場合は適正な長さに切断してください。

◎適正長さの範囲は、次の通りです。

トラクタのPTO軸と作業機の入力軸が水平で一直線上にある時、ジョイントが一番短くなる時です。このときにPTO軸にジョイントを装着し、もう一方のヨーク端と入力軸との間隔が10mm以上あるときは、そのまま使用することができます。

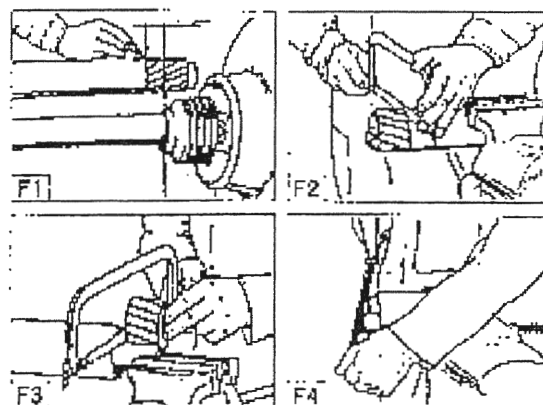


また、ジョイントを分離して内筒側をPTO軸に、外筒側を入力軸に取付け、水平で一直線上にあるとき、下図のスキマが25mm以上あり、作業機を上下させてジョイントが一番伸びたときに内筒、外筒の重なりが100mm以上あると適正長さの範囲です。



### 切断方法

- ① ジョイントを分離して内筒、外筒をそれぞれPTO軸と入力軸に取付け、最短の作動位置にあわせ、相手側の安全カバーの筒端から25mmスキマが空く位置に内筒、外筒の安全カバーにそれぞれにマークを付けます。
- ② 安全カバーの端からマークまでの長さで安全カバーを切断します。
- ③ 切断した安全カバーの長さ分を内筒、外筒それぞれ切断します。
- ④ 内筒、外筒お互いがスムーズにスライドできるように、切断面にヤスリをかけます。



## 2. トラクタからの取外し

トラクタから取外す場合は、平坦で硬く広い場所で行なってください。

- ①PTO変速レバーを中立の位置にして、取外し場所にトラクタを移動してください。
- ②ゲージ輪の位置を左右とも一番上の穴位置に付け直してください。
- ③トラクタ油圧昇降装置のポジションコントロールレバーをゆっくり下げて作業機を静かに接地させてください。
- ④トラクタに駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止してください。
- ⑤PTO変速レバーが中立の位置にあることを確認して、ユニバーサルジョイントをトラクタ及び作業機から外してください。
- ⑥トップリンクをターンバックルで長さを増減させ、トップリンクに力がかからなくなり作業機のトップピンが軽く動くようになったところでトップリンクを外してください。
- ⑦右口ワリンク、左口ワリンクの順で作業機から外してください。

## 3. 作業前の点検

- ① 各部のボルト・ナットの緩み、ピンの脱落がないか点検してください。
- ② ギヤケースにオイルが入っているか確認してください。出荷時にはオイルを規定量給油しています。
- ③ 耕うん爪状態を確認してください。出荷時は正転(ダウンカット状態)状態で組み込んでおります。(正転での中耕・除草状態です。)





## 4. 調整方法

### ① 作業姿勢の調整

#### 1) 前後の姿勢

横から見てメインカバーが水平になるように、トップリンク長さで調整してください。



### 注意

トップリンクの長さ調整は作業機を接地させ、エンジン停止で行なってください。

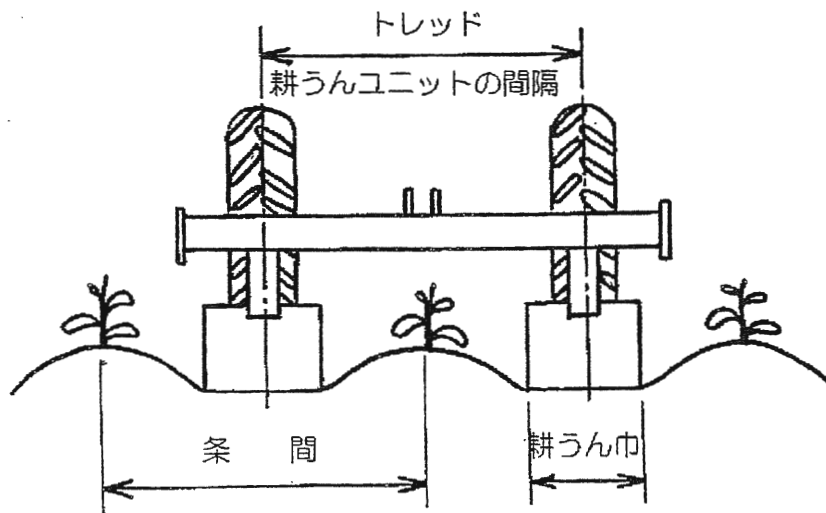
守らないと、トップリンクが抜けて作業機が落下するおそれがあります。

#### 2) 左右の姿勢

後から見てメインカバーが水平になるように、右のレベリングロッドの長さを油圧またはハンドル操作で調整してください。

### ② 条間とトレッドの調整

作物の畝巾に合わせてトラクタのトレッド(輪距)とロータリーカルチの耕うんユニットの間隔を合わせてください。この位置関係が適正でないと、直進性が悪くなったり、畝を踏んだり、作物を傷つけたりする場合があります。



### ③ 条間の調整

作業に合わせて条間を調整してください。

(梱包のため条間は合わせておりません)

条間の調整可能範囲は、次の通りです。

型 式	条間調整範囲
RT205	60～150cm
RT305	60～85cm

ロータリーカルチをトラクタ油圧で耕うんユニットのロータリ部が地面から少し離れる位置まで吊り上げ、ユニットをフレームに固定しているボルト・ナットを緩めて横にスライドして調整してください。

条間の調整が終わったらボルトを確実に締付けロックナットで固定してください。

同時に、トラクタのトレッドを合わせてください。(トラクタの取扱説明書を参照してください。)

#### ④深さの調整

ゲージ輪の上げ・下げで深さ調整を行ってください。

25mm間隔で調整できます。

作業深さは、一般的には5～10cmです。トラクタ油圧のポジションコントロールを使用してください。

#### ⑤耕うんユニットの上下調節

耕うんユニットは独立懸架方式を採用しています。それぞれのユニットで上下調整・固定ができます。

##### 1) 上部の圧縮コイルの調整

上部の圧縮コイルは耕うんユニットの下がり量を調整します。上中下の切替えが出来ます。

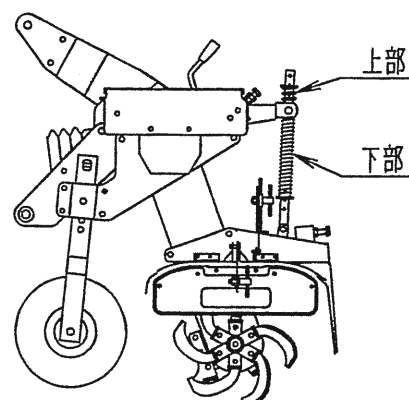
下がり量を小さくしたい場合は、下側にしてください。

##### 2) 下部の圧縮コイルの調整

下部の圧縮コイルは、耕うんユニットの押さえ込み量の調整をします。下の調整穴程ユニットの押さえ込み量が小さくなります。

一般的には、一番下の位置にRピンを挿入してユニットの押さえをフリーにしておきます。

土が固くて刺さりこみが悪い時や、耕うんユニットを押さえつけたいときには、Rピンの位置を上へ上げてコイルバネの押さえ強さを調整します。



### 注意

耕うんユニットの押さえつけが強すぎると(固定)、ロータリ部にムリがかかり、チェーンケース内部の破損につながります。  
特に、石の多い畑では、フリーにしてください。

## ⑥ロータリーカバーの調整

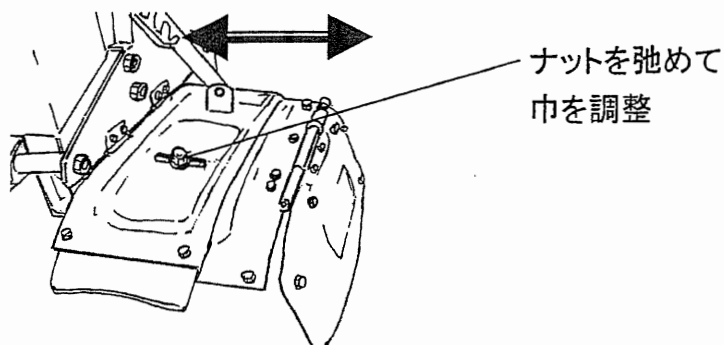
ロータリーカバーは耕うんカバーと延長カバーとから構成されています。

### 1) 耕うんカバー

耕うんカバーは、土寄せや畝盛り時の土の排出量や飛び量を調整します。

土の量が多いときは、耕うんカバーを上げてフトコロを広くすると土の流れが良くなります。カバー調整金具で調整してください。

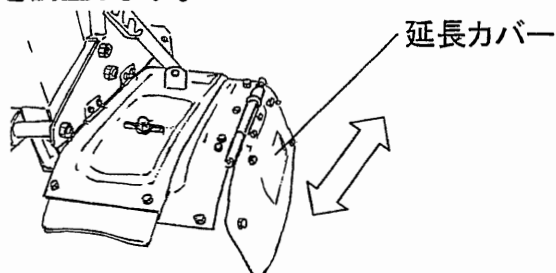
また、耕うん巾を変えたときには、耕うんカバーも巾を調整してください。



### 2) 延長カバー

延長カバーは、土のヨコへの飛びを調整します。

作物に応じて調整してください。



## ⑦正転・逆転の切替え

一般的に、正転では中耕・除草、軽い土寄せ・畝盛りを行い、逆転では、より多い土量の土寄せや畝盛りを行いません。

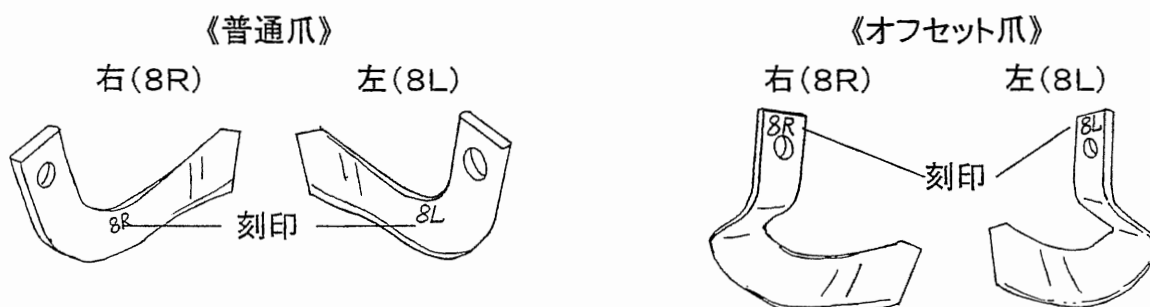
正転・逆転の切替えは、切替えレバーで行ないます。

正転のときは、ロータリーは上から下に向かって回転するダウンカットです。

逆転のときは、ロータリーは下から上に向かって回転するアップカットです。

したがって、耕うん爪の向きが回転方向に合うようにロータリーごと組替える必要があります。回転方向と爪の向きが合わないと故障の原因になりますので必ず組替えてください。

耕うん爪には刃が曲がっている面に刻印が打っています。また普通爪とオフセット爪の刻印位置が異なりますので、ご注文の際にご確認してください。



### ⑧ 耕うん巾の調節

各耕うんユニットの耕うん巾は、爪軸の付け外しと、耕うん爪の内向き、外向きの付替えで4段階に調節できます。

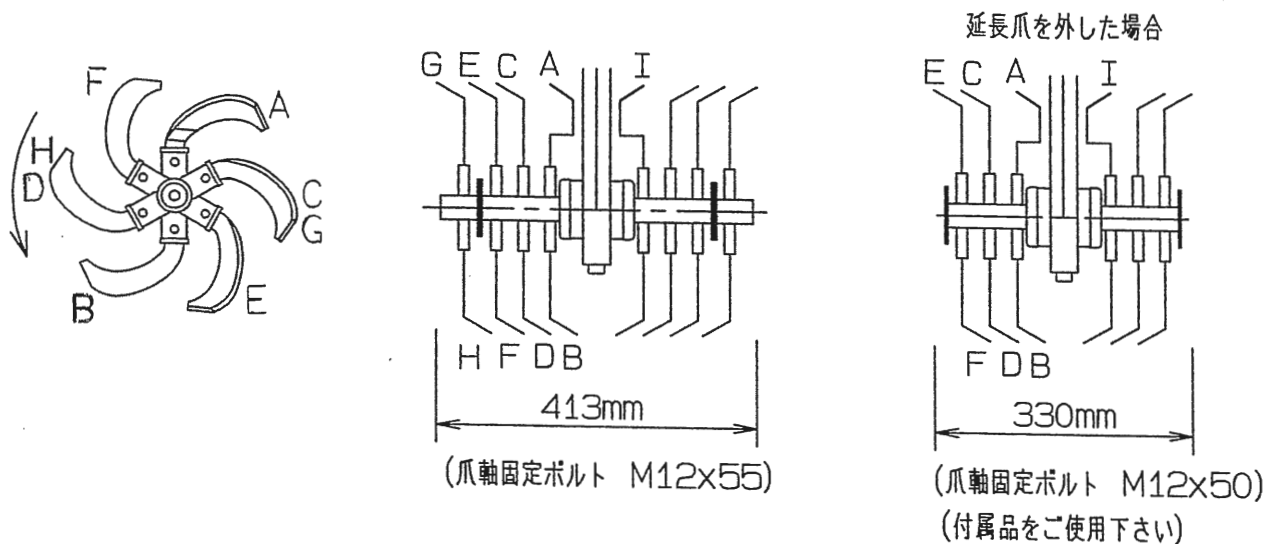
- 1) 爪軸の付け外しで耕うん巾に合わせます。
- 2) 同時に、ロータリーカバーの巾も調節してください。
- 3) 耕うん爪の配列によっても耕うん巾が変わります。
- 4) 延長爪を外した場合は爪軸固定ボルト長さを教えてください。

#### ● 耕うんユニットについている耕うん爪の種類と本数

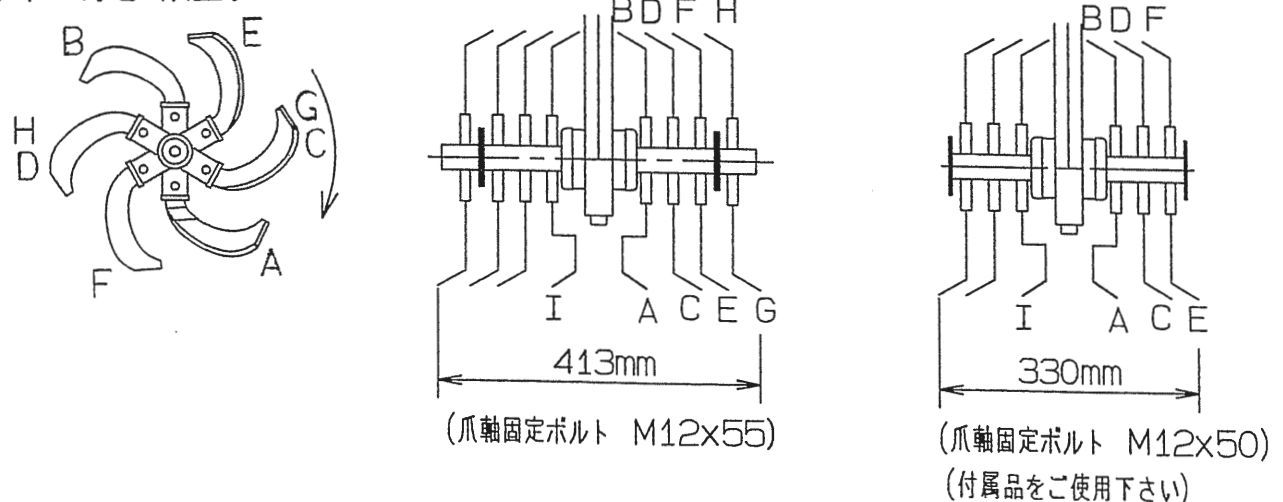
記号	爪の種類	本数
A	オフセット左 (8SL)	1
B、D、F、H	普通爪右 (8R)	7
C、E、G	普通爪左 (8L)	7
I	オフセット右 (8SR)	1

#### (1) 中耕・除草の爪配列

中耕・除草は、一般的にR爪・L爪を交互に取付けます。正転で作業をします。



#### (2) 土寄せ・畝盛りの爪配列



### ⑨作業速度について

標準作業速度は、1～2km/hです。

PTO回転は1速540rpm以下で作業をしてください。

## 5. 培土板(オプション)の取付け及び調整

培土板の押さえ機能によって、土寄せ、培土、畝盛りなどの作業を効率よく行なえ、仕上げがきれいにできます。

### ①培土板の種類

PL-1000F うね太郎 (スキガラ製) …大豆用

この他にも他銘柄、多数の倍土板を取付けることができます。

### ②培土板の取付け

ロータリーカルチのホルダーに培土板の取付け部を差込み、ロックボルトで固定してください。深さの目安は、耕うん爪の回転径よりも約1cm浅くしてください。



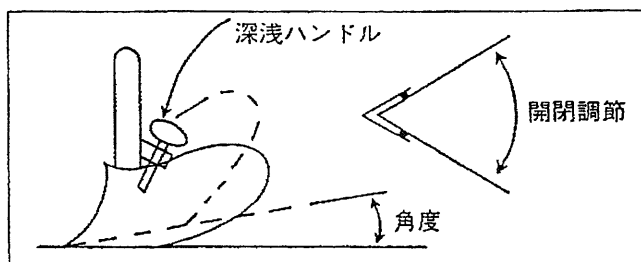
### 注意

耕うん爪の回転径より深く下げると、培土板を破損するおそれがあります。必ず、少し浅い位置で固定してください。

### ③姿勢の調整

培土板の下部が水平になるように、深浅ハンドルを操作してください。

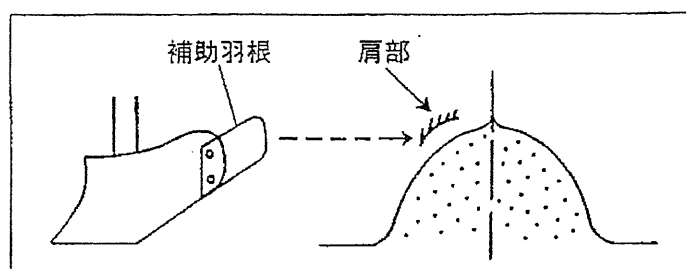
また、畝の巾、高さに合わせて開閉の調整をしてください。



### ④補助羽根の調整

補助羽根は畝の肩の部分を整形します。

前後・上下の角度を調整して合わせてください。



## 6. 点検・保守管理



### 注意

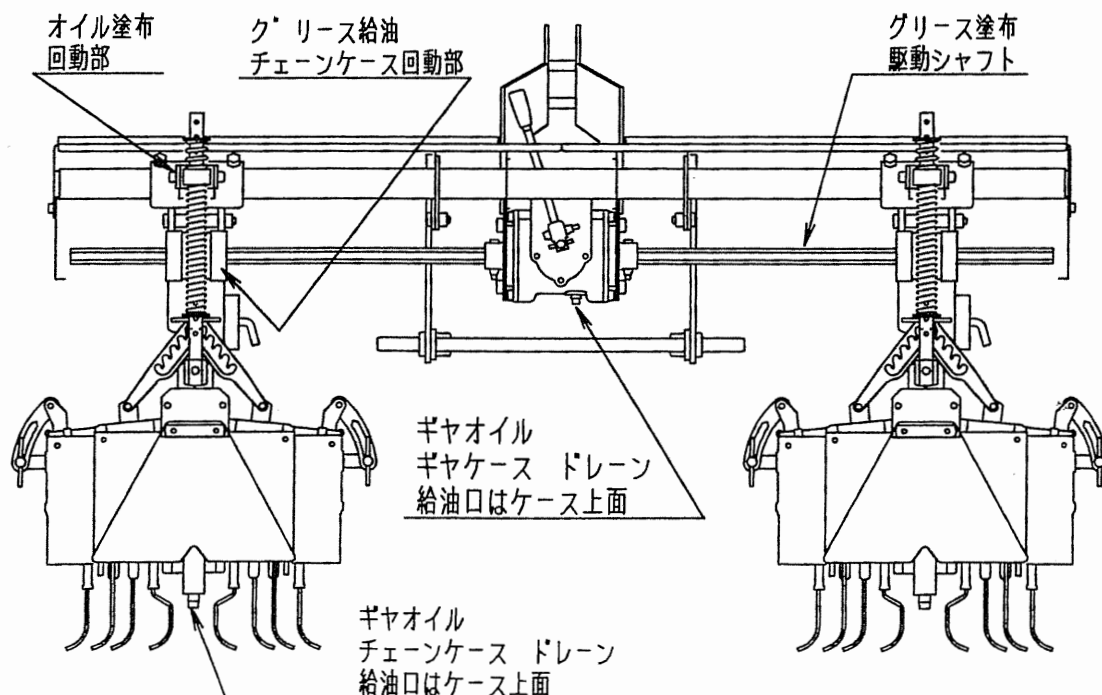
点検・調整をするときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、油圧ロックをして、かつ、作業機が落下しないように台を置き、PTOを中立にしてエンジンを停止してから行なってください。守らないと、機械に挟まれてケガをするおそれがあります。

- ① 作業終了後は、水洗いをして土等を取り除き、水分を拭き取ってください。
- ② ユニバーサルジョイントのグリスニップルの部分やすり合わせ部分にグリスを適量注入してください。
- ③ ロータリーカルチの駆動シャフトの部分にグリスを塗布してください。
- ④ ボルト・ナットの緩み、ピン類の脱落の有無を調べて、増し締め、補充をしてください。
- ⑤ 給油と交換

次の表の基準でオイル交換をしてください。

点検箇所	オイルの種類	オイル量	交換時期	
			初回	2回目以降
ギヤケース	ギヤオイル#80	0.5ℓ	50時間	150時間毎
チェーンケース	ギヤオイル#80	0.2ℓ/1	50時間	150時間毎

※オイル交換は、全量交換を行ってください。



- ⑥ チェーンケース回転部には作業ごとにグリスを給油してください。
- ⑦ 保管は、湿気がなく、平坦な場所に、安定させて置いてください。また、ユニバーサルジョイントは外して保管してください。

## 7. 主要諸元

型 式	RT205	RT305
全 長(mm)	850	850
全 巾(mm)	1690	1890
全 高(mm)	1030	1030
質 量(kg)	178	227
適応トラクタ(ps)《kw》	11~25《8.1~18.4》	18~28《13.2~20.6》
装着方法	標準3点リンク 0形	
条 間(cm)	60~150	60~85
標準耕巾(cm)	33、41	33、41
標準耕深(cm)	5~10	5~10
標準作業速度(km/h)	1~2	1~2
作業能率(分/10a)	25~50(条間80cm)	17~33(条間80cm)
回転外径(cm)	33	
耕うん軸回転数	264rpm/PTO 540rpm	

## 8. 付属品

本機と別に下記の付属品が同梱されていますので、ご確認ください。

名 称	品 番	個数	備 考
ユニバーサルジョイント	P11-115100-0	1	AS105-CV525
ボルト M12×50-7T P1.25	01022-12050	4(6)	延長爪を使用しない場合に使用
バネザガネ 12	01702-12000	4(6)	
キャップ	C36-411500-00	4(6)	キャップの無いロータアタッチ時に使用

( )内はRT305



株式会社

ホームページ <http://www.sasaki-corp.co.jp>

**ササキコーポレーション**

本社・工場 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-3111	FAX 0176-22-8607
営業部 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-0170	FAX 0176-25-3127
部品窓口 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-25-3170	FAX 0176-25-3171
北東北営業所 / 〒034-0001	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-75	TEL 0176-23-0354	FAX 0176-23-9655
仙台営業所 / 〒989-1631	宮城県柴田郡柴田町東船迫2-4-11	TEL 0224-58-7780	FAX 0224-58-7782
関東営業所 / 〒329-0201	栃木県小山市粟宮1241-9	TEL 0285-45-8911	FAX 0285-45-8910
長岡営業所 / 〒954-0124	新潟県長岡市中之島字1982-13	TEL 0258-66-0888	FAX 0258-66-0988
岡山営業所 / 〒702-8002	岡山県岡山市中区桑野110-2	TEL 086-274-9508	FAX 086-274-9510

0504-C36-711100-0